

3 サケ年齢組成と体サイズ

独立行政法人水産総合研究センター  
北海道区水産研究所 さけます資源部

- 北海道では、1994 年以降でみた場合、3 年魚は最も少なかったが、4 年魚は前年を上回り、5 年魚は前年並み、6 年魚は 2 番目に多い
- 本州太平洋では、4 年魚と 5 年魚が 1994 年以降の平均的な水準を下回り、3 年魚は最も少ない
- 本州日本海では、3 年魚と 4 年魚は 1994 年以降の平均的な水準、5 年魚は平均的な水準を上回り、2 年魚は 2 番目に多い
- 北海道および本州の沿岸で漁獲されたサケの平均重量は、いずれも前年同期より大きい

・サケの年齢組成

(全国)

全国の主要な河川に回帰したサケの年齢査定途中経過をもとに、1 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚 (2009 年級) は前年同期比 121.1%、5 年魚 (2008 年級) は前年同期比 98.0%となっています (図 1)。一方、3 年魚 (2010 年級) は前年同期比 76.3%であり、3 年魚としては 1994 年以降で最も少ない来遊数となっています。

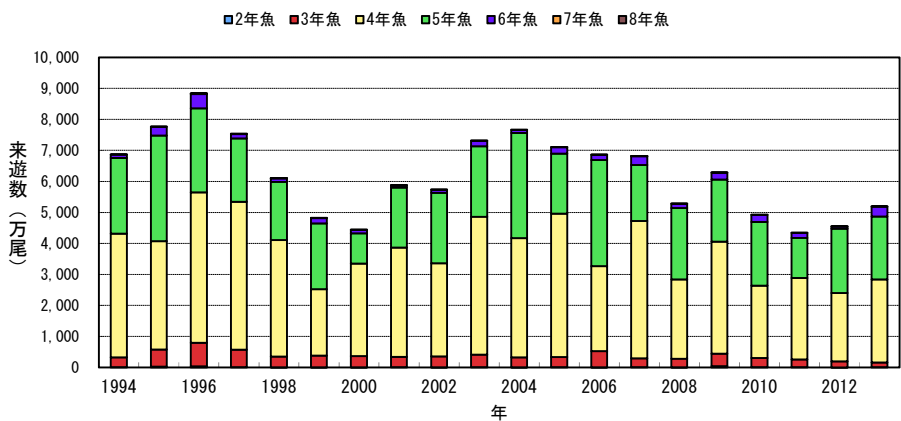


図 1. 1 月末時点のサケ年齢別来遊数 (全国)

(北海道:第 6 報と同じ内容)

来遊の主群を構成する 4 年魚 (2009 年級) および 5 年魚 (2008 年級) は、前年比でそれぞれ 113.6%、91.0%となりました。一方、3 年魚 (2010 年級) は前年比 88.4%であり、

1994年以降で最も少ない来遊数となりました。また、6年魚（2007年級）は前年比470.4%であり、1994年以降で2番目に多くなりました（図2）。

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の4年魚である2009年級は、4年魚までの来遊数（2～4年魚の来遊数）で比べた場合、過去（1992年級以降）の平均的な来遊数を下回る水準でした（図3）。

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、4年魚（2009年級）は前年比135.0%ですが、1994年以降の平均値の61.7%となっており、近年（1994年以降）の平均的な来遊水準を下回りました。また、3年魚（2010年級）は前年比77.6%であり、近年のなかで2番目に少ない状況でした（図4）。日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では、4年魚は前年比100.9%でした。3年魚は近年では3番目に少ない状況でしたが、6年魚は最も多くなりました（図5）。

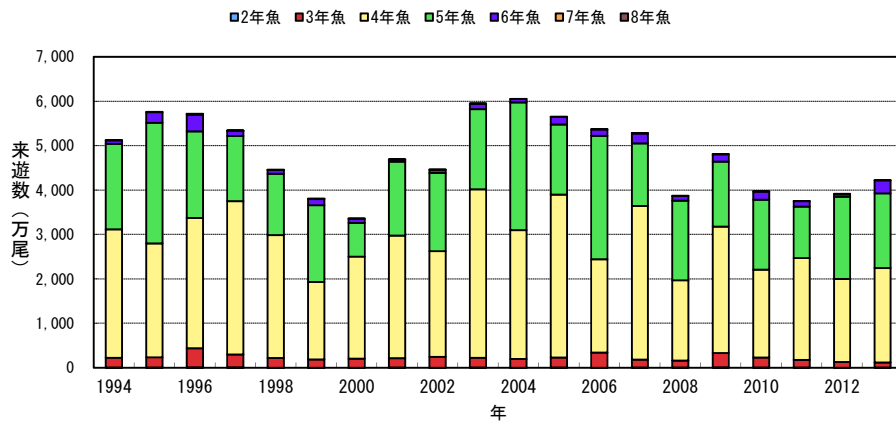


図2. 1月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道）

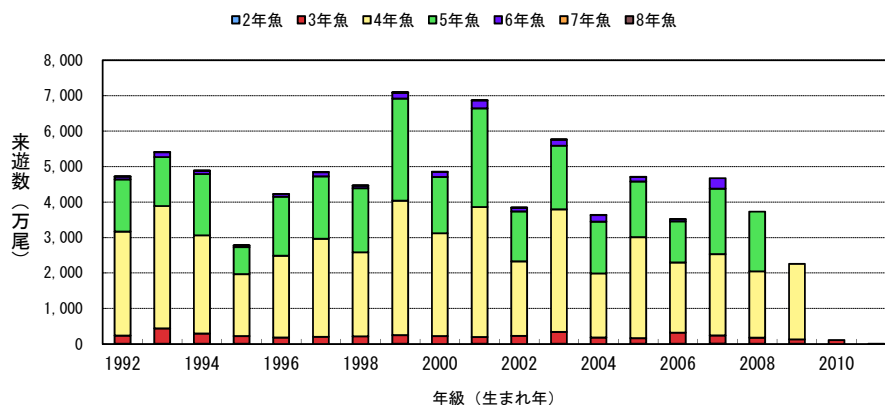


図3. 1月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）

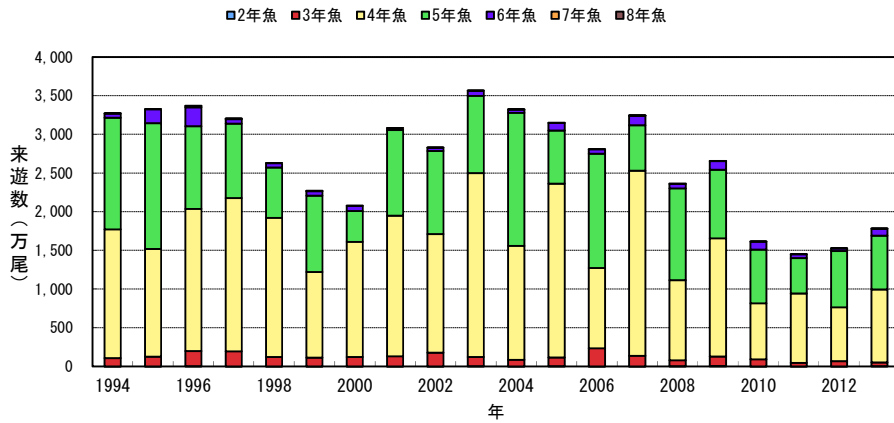


図4. 1月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）

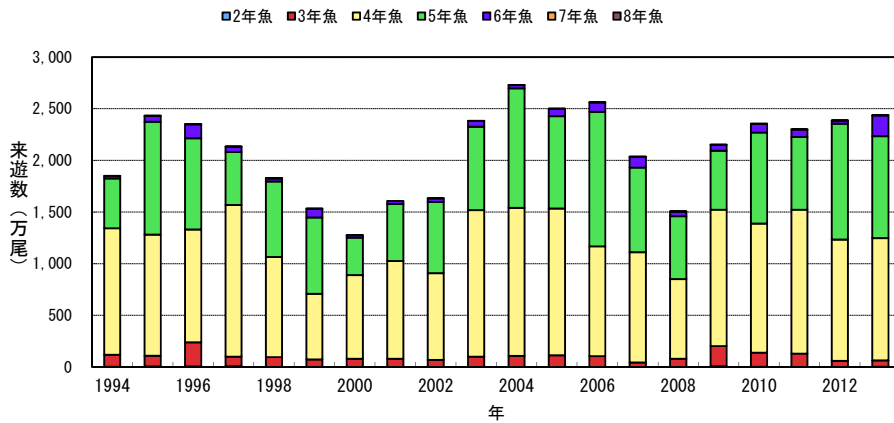


図5. 1月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）

（本州）

本州太平洋側では、4年魚（2009年級）および5年魚（2008年級）は、前年同期比がそれぞれ167.4%、154.5%ですが、いずれも近年（1994年以降）の平均的な来遊水準を下回る状況となっています。また、震災の影響を大きく受けたと考えられる3年魚（2010年級）は、前年同期比46.9%であり、近年では最も少ない状況です（図6）。本州日本海側では、4年魚（2009年級）および3年魚（2010年級）は近年の平均的な来遊水準ですが、5年魚（2008年級）は上回っています。また、2年魚（2011年級）は近年のなかで2番目に多くなっています（図7）。

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の4年魚である2009年級は、4年魚までの来遊数（2～4年魚の来遊数）で比べた場合、太平洋側では過去（1992年級以降）の平均的な来遊数を下回る状況となっています（図8）。一方、日本海側の2009年級では、4年魚までの来遊数が過去の平均的な水準となっています（図9）。

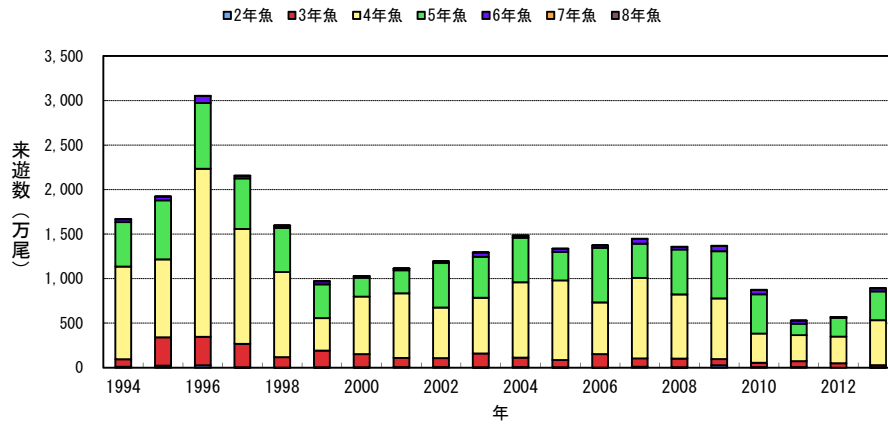


図 6. 1 月末時点のサケ年齢別来遊数（本州太平洋）

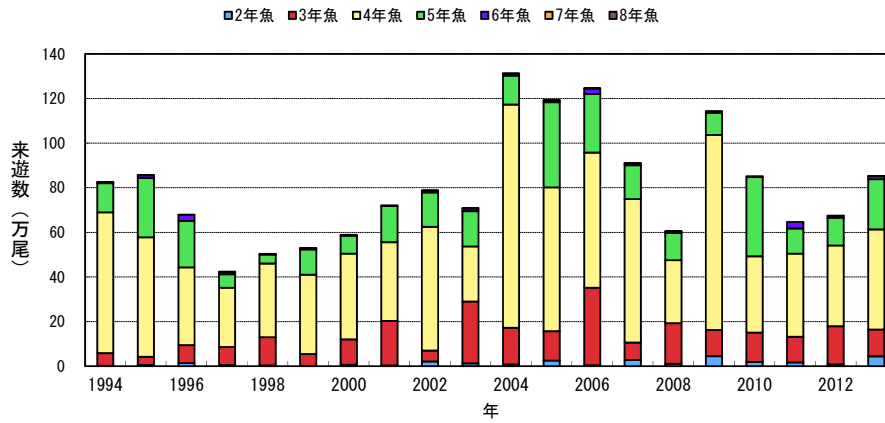


図 7. 1 月末時点のサケ年齢別来遊数（本州日本海）

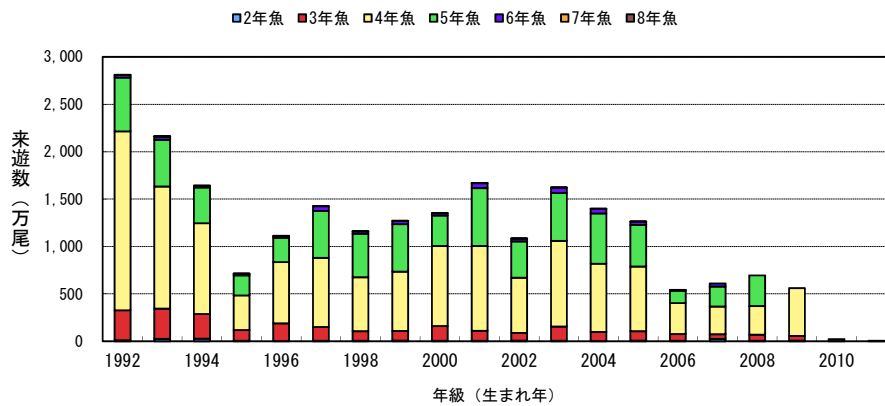


図 8. 1 月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（本州太平洋）

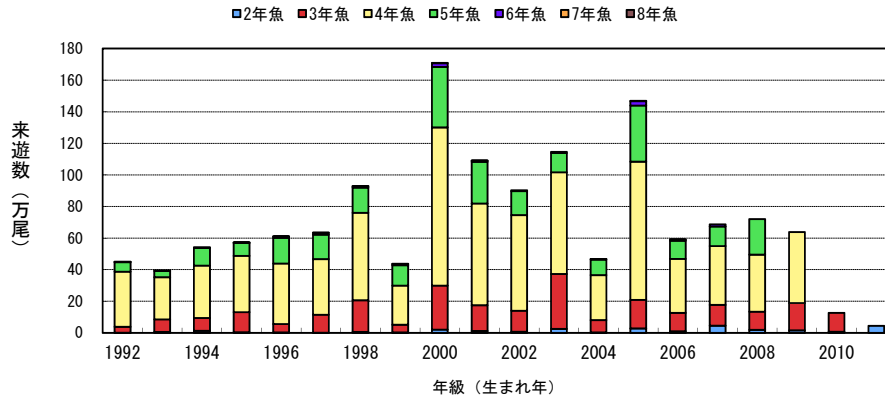


図 9. 1 月末時点のサケ年級群 (生まれ年) 別来遊数 (本州日本海)

・サケの体サイズ

本州における 1 月 31 日までのサケ 1 尾当たりの平均重量 (サケ漁獲数と漁獲重量から算出) は 2.99kg であり、これは前年同期比 107.6%に相当します。

北海道の平均重量は 3.35kg であり、これは前年比 108.1%に相当します。平成元(1989)年～平成 24(2012)年における平均重量を比較した場合、今年の体サイズは、平成 19 (2007)年～平成 20 (2008) 年および平成 23 (2011) 年に近い水準でした (図 10)。

北海道の主要河川で測定された 4 年魚の平均尾叉長は、いずれの河川とも平成以降で小さい水準であった昨年 (平成 24 (2012) 年) を上回りました (図 11)。

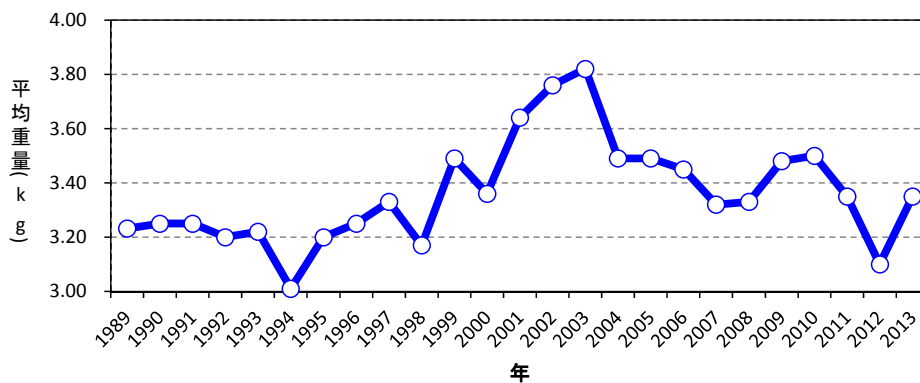


図 10. サケ平均重量 (北海道)

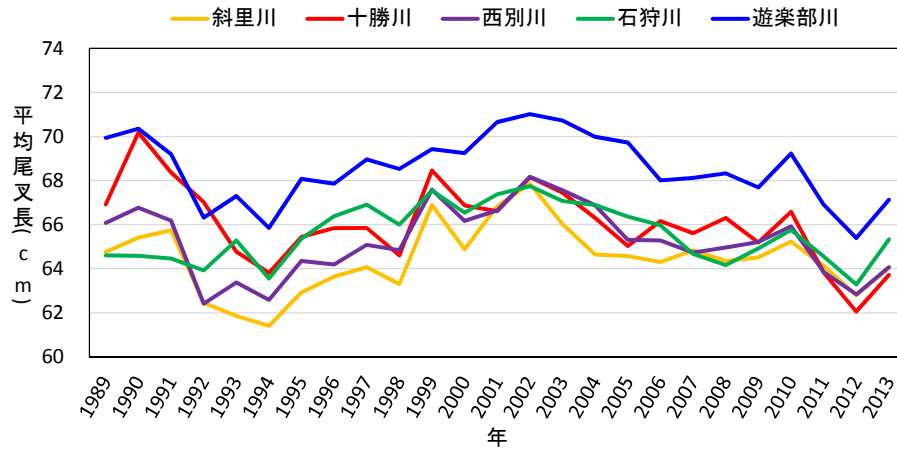


図 11. 北海道の主要河川におけるサケ4年魚（雌雄込み）の平均尾叉長